

平成25年9月第3回幸田町議会定例会 報告

議会報告 9月定例会

定例会のあらまし

平成25年9月定例会は、9月2日に招集され22日までの26日間の会期で開かれました。財政健全化判断比率など報告議案1件、任期満了に伴う教育委員会委員の任命をはじめとする人事案件2件、条例の一部改正などの議案8件、補正予算関係8件、平成24年度10会計の決算認定議案が上程され原案通り可決しました。その他、陳情2件を審議し1件を採択、1件を不採択としました。議員提出議案として3件が提案され可決しました。

主な単行議案

・財産の取得について **「走る救命救急室」の整備** **住民の命を守る!**

高規格救急自動車更新

1995万円

高度救命処置用資機材購入

976.5万円



救急救命士が特定救命行為をおこなうための資機材（気道確保用、半自動式除細動器）とリアルタイムで病院検索できる情報通信用携帯電話を積載した救急車。



救急車に搭載する資機材で、この救命処置用資機材を使用するのが救急救命士、心肺機能停止状態の傷病者に対し、医師の指示のもとに、特定医療7行為をおこなう。

- ・幸田駅南駐車場の廃止・・・(第2駐車場の拡張したため、暫定使用を中止)
- ・町営神山住宅明け渡し請求の訴え・・・(家賃滞納と迷惑行為により提訴) など。

＝平成24年度の決算概要＝

町税 前年度比1億3934万円 (1.8%) 減 総決算額6億3706万円の黒字

平成24年度の一般会計、特別会計の総決算額は、歳入197億8194万円、歳出188億3460万円であり、前年度比：歳入11億7138万円 (5.6%)、歳出13億856万円 (6.5%) の減少となり、歳入決算額から歳出決算額等を差し引いた実質収支は6億820万円の黒字となった。

一般会計決算概要

歳入総額は、133億7659万円となり、対前年度 15億 469万円(マイナス10.1%)の減。

歳入

町税全体で、75億1703万円、対前年度1億3934万円(マイナス1.8%)の減収。固定資産税の償却資産分が、対前年度1億70万円(マイナス6.2%)の減、家屋分が評価替えなどにより、対前年度1億4353万円(マイナス10.6%)の減などによるもの。町民税については、1億2360万円の増となり、全体では9767万円の増加となった。

歳出総額は、126億1200万円となり、対前年度 15億9707万円(マイナス11.2%)の減。

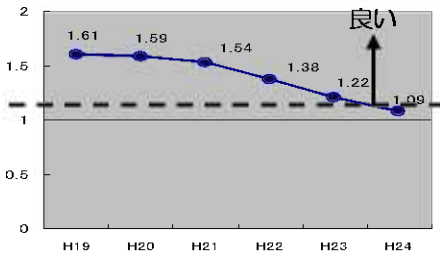
歳出

減少した費目は、相見駅建設や職員用パソコン購入などの終了により、総務費で20億2868万円の減、幸田駅前再開発事業での工事費の減などにより1億1102万円の減少。一方増加した費目は、わしだ・大草保育園用地取得や岡崎市一般廃棄物中間処理施設建設負担金、防災行政無線デジタル化、小学校扇風機設置など。

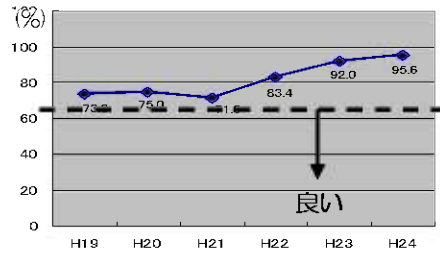
「わがまちの財政は健全か？」

主な財政指標でみる 2/2
(家計に当てはまる言葉)

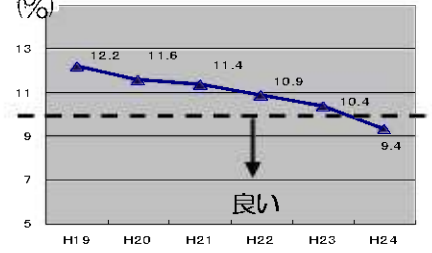
財政力指数（家計の余裕度）



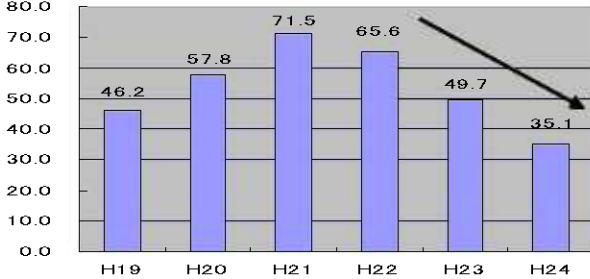
経常収支比率（エンゲル係数）



公債費比率（ローン返済率）

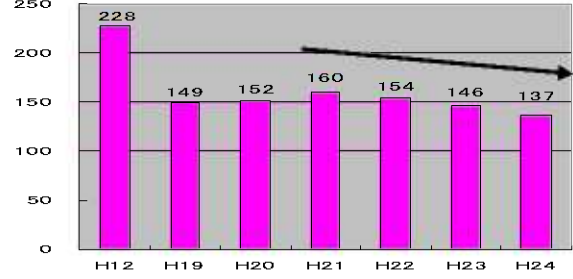


全基金残高（貯金）



基金取崩しが続く

全地方債残高（借金）



借金を抑え財政運営

財政力指数は交付団体ギリギリの1.0に近づいています。予算に占める借金返済は9%強、経常収支比率も94%を超えています。厳しさが続く中、更なる自主財源の増強が必要です。

来年度から 「児童クラブ・放課後子ども教室を 一本化！」へ

「児童クラブ・放課後子ども教室の一本化」の考えが示されました。

国の所管

現行

町の所管

厚生労働省 ⇒

「児童クラブ」 ⇒

こども課

文部科学省 ⇒

「放課後子ども教室」 ⇒

学校教育課

統一

窓口
こども課

来年度から

「児童クラブ」
に一本化！

放課後の子どもの居場所づくりと子育て支援として、現在「児童クラブ」（全6小学校）は287人、「放課後子ども教室」（荻谷・幸田・中央の3小学校）は、156人が利用しています。町は、この放課後対策事業を一本化することで国からの補助金は年間約250万円が減額となりますが、住民の声を反映し、子育て支援対策を優先する決断をしました。



= 活動報告 =

町長へ要望書提出



9月25、連合三河中地域協議会(中地協)の矢田代表をはじめ役員6人と私とで、大須賀町長を町長室にたずね、来年度予算への反映を要望書にまとめ提出しました。
(写真:大須賀町長に要望書を提出する矢田代表)

議員活動の報告会



10月10日開催されたデンソー労働組合役員の労働講座のカリキュラムの中で、議員活動報告をおこない不審火が続く現状と防犯・防災の取り組みや交通安全対策など、安心・安全なまちづくりの現状などを報告をしました。